

〔城山中学校ホームページ（<http://www.ueis.ed.jp/school/shiroyama-j/>）では、カラーでご覧いただけます。〕

ふるさと学習の発表会（土曜授業）

9月2日・3日に予定していた地域探索活動（ふるさと学習）がコロナ禍のため、現地調査に行けず、メールによる質問やHP検索等により調査を実施しました。その後、グループによる資料作成と発表練習を行い、11月20日の土曜授業にて発表を行いました。学年ごとに発表方法は違いましたが、どの発表も工夫されて興味深いものでした。3年生の発表には、SDGsとの関連を考えたグループもあり頼もしさを感じました。このふるさと学習（調査から発表）を通して、互いの良さを認め合い、地域社会に参画しようとする意欲が高まりました。

生徒からの質問メールに回答いただいた関係者の方々には大変お世話になり、感謝申し上げます。保護者の皆様にはお忙しいところ、ご参観いただきありがとうございました。

- ＜地域探索活動のテーマ＞
- 1年生「城山地区の歴史を学ぼう」
 - 2年生「城山地区の魅力的な産業について学ぼう」
 - 3年生「城山地区の魅力を発信しよう」



- ＜探索活動を予定していた場所＞
- ・大谷資料館 ・多気城跡 ・多気不動尊 ・森林公園（赤川ダム）
 - ・古賀志地区 ・牧場（乳牛） ・城山農産加工場 ・フルーツパーク古賀志 ・養豚場
 - ・日光ゆば製造 ・大谷寺および平和観音 ・大谷採石場 ・大谷石体験館



【1年生】



【2年生】



【3年生】

小中合同あいさつ運動（宇都宮BREXも参加）

11月24日に小中合同あいさつ運動を実施しました。本校生徒約30人が地区内の3小学校にて小学生と一緒に、登校してくる児童と元気よくあいさつを交わしてきました。

城山中央小学校では、プロバスケットボールチームの宇都宮ブレックスから、マスコットキャラクターのブレッキーとチアリーダーのブレクシーが応援に来てくれました。

今後もあいさつ運動を通して、時と場に応じたあいさつやマナーの習得を目指していきます。

【あいさつ運動参加者：城山中央小学校にて】



城山地域学校園共通メニュー（ピカッと輝け🌩ネバギバ城山献立）

11月12日の給食メニューは、城山・大谷の美味しい食材をふんだんに使い、良さを詰め込んだ献立でした。城山地域で作られた「ゆうだい21」というお米が、プロサイクルロードレースチーム「宇都宮ブリッツェン」とコラボしたことで生まれた宇都宮ブリッツェン米、大谷石で石室を造り、発酵・熟成させた納豆（パッケージデザインは城中生の作品）、フルーツパーク古賀志で育った「名月」という品種のりんごを提供しました。中学生だけでなく、各小学校でも好評のようでした。



薬物乱用防止教室（演劇鑑賞）

11月26日に劇団三十六計による演劇「すばらしい明日のために…違法薬物『買わない』『使わない』『かかわらない』」を体育館にて鑑賞しました。感染防止のために、鑑賞者数を全生徒の半数にして、公演を2回実施していただきました。実話を基にした内容であり、鑑賞した生徒からは、「薬物による幻覚反応の様子が怖かった。」「大麻や覚醒剤の俗称が多く注意したい。」などの感想が聞こえました。



演劇鑑賞の事後アンケートの結果

- ・質問「薬によって気分の高揚や快感を得ることについて」
回答「良くない」95.6%
- ・質問「薬物乱用に誘われたらどうしますか」
回答「断る」91.9% 「分からない」6%

今後も未然防止に向けて、指導・啓発を続けていきます。



校長のひとり言（益子町の「土祭」より）

11月の休日に益子町を訪れ、「土祭（ひじさい）」を巡ってきました。「土祭」は行政と住民が協働でつくりあげる「風土に根ざした地域づくりの祭り」で、2009年から始まり3年に一度開催しており、今年で5回目になります。私は、前回の2018年見学に訪れ、多くの刺激を受けました。

今回は、「未知の日常」がキーワードとして様々なプログラムが展開されていました。私は、感性の土壌「七つの神社を巡る」プログラムを見てきました。益子の歴史と受け継がれている文化、そして里山の美しさを体感することで、「豊かな暮らしとは何か」「地域の歴史や文化を理解し、それを発信することの意義は何か」を強く考えさせられました。

この城山中学校区とも多くの共通点があり、本校のSDGs構想の参考になりました。

